

SAJ競技本部 SBFSFK委員会  
スノーボード競技会 新型コロナウイルス感染対策ガイドラインVer.1

はじめに

このガイドラインは、スノーボード競技会を安全に開催するために、『SAJ競技会 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン第1版』（以下SAJ競技会ガイドライン）に加え、スノーボード競技における感染防止策として補足事項を記したものです。SAJ競技会ガイドラインならびに本ガイドラインをご確認の上、貴加盟団体主催を始めとする各競技会運営にお役立ていただき、安全安心な競技会を実施していただきますようお願い申し上げます。一人一人が感染予防に留意し、スノーボード競技会を安全かつ確実に実施できるよう、ご協力をお願いいたします。

※必ず、事前にSAJ競技会ガイドライン（ <http://www.ski-japan.or.jp/general/35824/> ）をご参照いただきますようお願いいたします。なお、本ガイドラインとSAJ競技会ガイドラインの内容に齟齬があった場合は、SAJ競技会ガイドラインが優先されるものとします。

※リフト／ゴンドラ、レストハウス等スキー場利用のルールについては、スキー場のガイドラインを優先します。必ず指示に従ってください。

1. 施設管理

- ① レースオフィスやジャッジスタンド内など過密になる恐れのある場所では、マスク・マウスシールド・フェイスシールドなど着用の上、対面接触によるリスク軽減の為にアクリル板・透明ビニールカーテン、接触感染予防のための手袋、手指消毒剤を設置して対応する。
- ② 各部屋への入室はできる限り最小限の人数に制限し入出者名簿で記録を残すようにする。
- ③ 筆記用具は各自持参し、貸し借りは避ける。
- ④ 書類やジャッジペーパーを触るときは手袋の使用を推奨する。万一素手で触った場合、こまめに消毒をおこなう。
- ⑤ 部屋は定期的に換気をおこなう（30分に1回の換気を推奨）。

2. 運用管理

- ① TCMでのドローを避け事前におこなう場合は大会当日までにジュリーにて協議をおこなう。
- ② 開会式や表彰式、閉会式は実施しなくても構わない。実施する場合は、SAJ競技会ガイドライン【4運用管理（選手・関係者）-9表彰式】に準じ、できるだけ簡素化して実施する。
- ③ 参加者には「健康管理表」を、毎日事前に記入してもらった上で受付をおこなう。
- ④ 主催者は受付時の対応として「健康管理表」の内容を確認、検温をした上で異状が無ければ入場させる。
- ⑤ ビブはクリーニング済み・消毒済みの物を配布する。
- ⑥ ビブは競技会終了まで選手個人で管理するようにして、途中での回収はおこなわない。
- ⑦ ビブの回収時は常時マスクを着用しビニール袋などに入れて感染に注意する。
- ⑧ ジャッジレビューやジャッジペーパーの閲覧・写真撮影はおこなわない。

3. 選手・指導者・保護者・チームスタッフ・競技関係者の全ての皆様に守って頂きたいこと

- ① 入場時検温にて発熱が認められた場合、会場内で体調不良となった場合、新型コロナウイルスへの感染の疑いが予想される場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。主催者は大会医療関係者や各自治体所管の保健所もしくは関係機関へ問合せをして指示を仰ぎ、必要であれば速やかに指定医療機関を紹介し受診させる。
- ② リフトやゴンドラに乗車する際は、マスクを着用し、対面での会話は控える。

③ 可能な限り一般客との同乗を避け、選手や関係者同士で乗車することを推奨する。

#### 4. 海外からの帰国後の参加

① 選手・コーチは参加する競技会の14日前までに帰国をしていること。

・ 選手・コーチは外務省の指示に従い、14日間は公共交通機関を使用せず自宅待機を行うこと。帰国後14日以内の選手は、競技会に参加することはできない。また、14日以内の公共交通期間を使つての移動も認められない。

・ なお、上記項目は、外務省の措置およびそれに伴うSAJ理事会の決定により、シーズン中に変更されることがある。また、商業目的の旅行等については、外務省が定める別の指示に従う。

② 大会開催者は、項目①を最新情報に合わせて大会要項に明記する。

#### 5. その他

① SAJ競技会ガイドライン末尾にURL記載の関係諸機関が発行しているガイドラインも参考にすること。その他ご不明な点があれば、上記委員会宛てに問い合わせる。

以上